

荒井政治博士古稀記念論文集

関西大学経済学会

荒井政治先生に捧げる

献 辞

荒井政治先生が、1993年3月でご定年を迎えられることになりました。永年にわたって経済学部と経済学会にいただいた御尽力に、心からの謝意を申し上げます。

先生は、昭和25年4月に経済学部にお勤めになられて以来、今日まで43年にわたって本学の研究、教育、および大学運営に尽くされました。先生は矢口孝次郎先生の高弟として、イギリス経済史の分野で数多くの優れた著書と論文を發表され、学界をリードしてこられました。先生は常に新しい問題を提起して新しい研究領域を開拓され、「矢口経済史」を継承されながらも、それを再検討され拡充してこられました。また長い間、社会経済史学会常任理事として、経済史学の発展のために活躍されました。このような先生がおられますことは私共の誇りであり、学者としての先生のお姿は私共のあこがれの的であり、また先生からいただくアドバイスは私共の励みであります。

先生は学部と大学院で、経済史、西洋経済史、外国経済論、経済学演習などを担当され、その名講義ぶりで多くの学生を魅了され、幾多の人材を育ててこられました。先生の誠実で温かいお人柄に、私共はいつも深い感銘を受けております。

先生はご定年と同時に古稀をお迎えになられますが、70歳とは思えないほど若々しく、学問研究への情熱をお持ちであります。今後ともご指導賜わりますようお願い申し上げます。

先生は多くの貴重な論文を本誌に寄稿され、本誌の発展に多大な貢献をされてこられました。ご退職を機に、荒井政治博士記念号を特集し、そのご功績に心からの謝意を表わすと共に、謹んで本号を先生に捧げる次第であります。

1993年1月

関西大学経済学会会長 小 田 正 雄